

夏野菜やさつまいもの栽培を通して、育てる大切さに気づき、感謝の気持ちを持つ
～食育活動の中で、様々な事に興味をもち、考えたり調べたりする中で探究心を培う～

〈初めに〉

元総社幼稚園では毎年年長さん、年中さんを中心に畑にさつまいもの苗を植え、さつまいも掘りを行い収穫したさつまいもを窯で焼いて食べます。

昨年度子どもたちにさつまいもの種類について話したところ、興味を示し「しっとり系のさつまいもが食べてみたい!」「ねっとり系のさつまいもが食べてみたい」等の意見がたくさんでた為、今年度は食べてみたいさつまいも、育ててみたいさつまいもの種類を子どもたちと一緒に選ぶところから始めました。いろいろな種類のさつまいもを植えたので、収穫前に畑にさつまいもの様子を観察したり、収穫したさつまいもを観察し記録をとったり、遊びに取り入れたりしました。

給食は日々の保育の中でさつまいもという食材に興味を持ち、その食材ができるまでの背景に興味を持てるようお昼やおやつにさつまいもを使った料理を提供し、工夫しています。

(昨年度の様子)



先生このさつまいも食べてみたい!



うんとこしょ!どっこいしょ!



さつまいも掘りの様子

もっと掘ってみよう!!

全然抜けないね!
大きいのかな?

さつまいもの水洗い様子



こうやって洗うんだよ!

窯で焼いているところの見学



すごいね!

焼き芋会の様子



わーい!!

リースづくりの様子



先生こうであって?



見て見て!!こんなに大きい
リースができたよ!

ツルで綱引き、長縄をしている様子



〈今年度の様子〉

・さつまいもの種類選び

昨年度、さつまいもの種類について触れていた為、年長さんから「先生、しっとり系のさつまいもが食べてみたいな」と声をかけられました。覚えていたことに驚きます。

さつまいもの種類を調べ子どもたちにどんなさつまいもを育て、食べてみたいか聞いてみると、最初はさつまいもの色や形に興味を持って選び始めます。他に視点を持って欲しいので栄養教諭が「このさつまいもは、焼き芋にするとおいしいらしいよ」と声をかけると、「これは美味しい?」「これは?」とさつまいもの特徴に興味をもち始めました。子どもたちから「いっぱい種類があつて迷っちゃう」「焼き芋会するから焼き芋が美味しいのがいいよ!」「しっとり系とホクホク系の両方食べたい!」と様々な反応が返ってきます。

子どもたちの意見を聞き今年は紅はるか、紅あずま、シルクスート、ふくむらさきの4つの種類を植えることになりました。



これは焼き芋にすると
美味しいんだよ!



いっぱいあつてどれが良いか迷
っちゃう。

これは焼き芋にすると美味しい?

・身近な野菜を育ててみよう!! ～経験から育てる意欲～

園ではさつまいもの他にも学年ごとに野菜を育てていました。年少さんはピーマン。年中さんはナス。年長さんはピーマン、ナス、ミニトマト、おくら、枝豆、ズッキーニの中から1人ひとつ好きな苗を選び育てました。「早く、水をあげないと」「今日水あげる時間なかった、先生どうしよう」と苗のことを気にかけます。また、ズッキーニは受粉作業をしないと実がならないということがわかり、ズッキーニの花が咲くと子どもたち自ら「結婚式をしなくちゃ」と受粉作業をしていました。「先生、実ができてきたよ!そろそろ収穫できそうかな」「明日は取れそうかな?」と収穫に期待を持ち世話をします。収穫した野菜は給食室にいる調理師に子どもたちから直接渡し、保護者の方に給食に取り入れることを発信した上で、提供していただきました。

給食として提供すると、育てる大変さを知った子どもたちからは「ナス美味しかった!」「ピーマン苦いけど、少し食べてみたよ!」と苦手なものに挑戦する姿勢が見られました。いろんな料理、味付けで提供していくと、子どもたちから「味噌美味しかったから、味噌味が良い!」とリクエストも出る様になりました。

保護者からも「幼稚園で育てたナスを給食で食べて美味しかったから、家でも食べられるようになったんです!」と嬉しい声をかけて頂き、自分たちで育てた野菜というだけで、子どもたちの中で何かが変わり、苦手な物も食べてみようという意欲が、育まれた瞬間でした。



お水、いっぱいあげないと!



そろそろ、とれるかな?

・さつまいも植え ～食育を通しての気持ちの変化～

6月になり、子どもたちが自分たちで選んだ苗を植えに畑に行きました。学園長の話に真剣に耳を傾け「美味しいさつまいもを育てるために」と一生懸命取り組みます。「やりかたわかんなくなっちゃった」「手でバーッてやって、苗をおいて優しくお布団かけてあげるんだよ」と友達同士で教え合いながら取り組みます。食育として行っている活動ですが、この活動を通して食に関することだけでなく、様々な力が育まれていることに気づきます。

また栄養教諭の話を書いて、畑が整えられていることに気づくと夏野菜を育てた経験から育てる大変さを感じていた為か、自然と「先生畑に行ってくれてありがとう」「これ作るの大変だったでしょ？」と感謝の気持ちを伝えてくれます。この気持ちが育まれたことで、食に対する気持ちも変わってくれることを願っています。



手でバーッてやって、苗をおいて優しくお布団かけてあげるんだよ！

美味しいさつまいもができますように！

こうやってやるんだよ！



・畑の様子大丈夫かな？ ～観察力と探究心の育み～

園ではさつまいもの他にも夏野菜を各学年プランターで育てています。プランターに雑草が生えてくると「栄養が取られちゃう！！」と一生懸命雑草処理をする姿があった為、6月に植えたさつまいもはどうなったか子どもたちに問いかけてみました。「雑草だらけでさつまいもが育ってないかもしれない」という意見が出ると、話し合いが始まります。様々な意見を出し合い、畑の様子を見に行くことが決まります。畑に行く前に、今、畑はどんな風になっているか問いかけてみると「草がいっぱい生えてる！！」「葉っぱで、わさわさしてる」「葉っぱの海になってる」など色々な意見が出て、子どもたちの想像が膨らみます。畑の周りをぐりと回ってみると「草、あまりないね！」「誰か取ってくれたのかな？」と子どもたち同士で話していたり、「さっきの葉っぱはギザギザしてたのに、こっちはしてない！」と大人も気が付かなかった葉っぱの違いに気づき伝えに來たり、6月とは違う畑の様子をじっくり観察します。「他に違うのあるかもしれないから見てくる！」「ねー見て！この葉っぱ黄色だよ」「え？なんで？」「変なところから、生えてる！」と子どもたちの「何で？」があふれ、この気持ちが募ると試したくなる子どもたち。なぜこのような葉の形になのか、色が違うのかツルが生えると芋がなるの？など友だちや保育者と話し合い考えたり、調べたりしながらいきいきと活動する子どもたちです。



葉っぱでワサワサしてる！



この葉っぱギザギザしてるけど、こっちはギザギザしてない！

これこっちのと繋がってるよ！



切れたツルから芋が出てる！大きくなるのかな？持って帰っていい？



変なところから生えてる！抜いていい？



そっか！じゃあ大きいさつまいも食べたいから、埋める！

・さつまいもには、どんな栄養があるの？

元総社幼稚園では、「栄養レンジャー」というキャラクターを栄養大学の学生の皆さんに教えてもらいそこから、この食べ物を食べるとどのような栄養がつくのか、学んできています。そこで、さつまいもの栄養について触れ、美味しいさつまいもの選び方などを子どもたちに話しました。

毎日三色分けをしている年長さんは「さつまいもは黄色レンジャーだよ！」としっかり三色に分けられていました。また、「さつまいもはお野菜グリーン栄養も入っているから緑と黄色だよ」と食物繊維やビタミンcについても理解を深めていました。

さつまいもの葉っぱ、さつまいもはどこの部分を食べているか、さつまいもの花は咲くか、収穫の季節、どのようになると収穫の合図かなど話したところ、子どもたちから、「もっとさつまいもを知りたい、クイズ出して!!」とさつまいもへの興味が高まっていきます。興味が高まることで、さつまいも掘りへの期待が更に膨らみました。



・教材の写真



・さつまいも掘り

待ちに待ったさつまいも掘り、「さつまいもいっぱい掘るんだ!」「こんな大きいさつまいも掘るんだ!」ととても楽しみにしていました。品種別に収穫するため、また、子どもたちにツルの先についたさつまいもを見て欲しいという願いからツルを残しておき、ツルがある状態で収穫も行いました。最初は思い思いに引っぱって「全然抜けない!」と苦戦していましたが、「うんとこしょ!どっこいしょ!」と一人が話すとみんなで同じ方向に引っ張り、協力し始めます。すると絵本のように尻もちをつき、さつまいもを収穫することができました。「すごい!!」と感動体験を経て大満足。

しかし、その後なかなか芋にたどりつかないので、さつまいものツルを保護者が切っていると「運ぶの手伝うね!」と子どもたちから率先してツルを回収している様子が見られたり、ツルを切り終わりさつまいも掘りを開始すると「全然、掘れない」と困っている子に「手伝うよ!!」と助けている様子が見られたり、さつまいも掘

りという活動の中で、思いやりの芽が育っていることに気づきます。

また「土の中で、こんなふうになっているんだ!」とさつまいもの生え方の様子を観察している子もいて、子どもたちの中で、一番興味が深まっている部分をじっくり観察しながら掘ることもできました。さつまいもに関する行事や日々の保育での経験、体験から子どもたちの中にたくさんの力が育まれていきました。



運ぶの手伝うよ!!



うんとこしょ!! どっこいしょ!!

いっぱいとれたね!



焼き芋いっぱいできる
ね! これ美味しそう!

先生見て! 1つのところか
ら、こんなにとれたよ!



さつまいもってこういう
ふうになってるんだね!

・さつまいも測定大会

収穫したさつまいもを品種ごとに大きさや重さ、太さなどを比べました。品種が違う為、クラス毎に品種を分けて測定をしました。あそびの中でリボンやスズランテープを切る際に目安を作って切るというやり方を自分たちで見出した子どもたちは、芋の太さや長さを測る時もそれを応用して測っていきます。(芋の長さに合わせてスズランテープを切る、芋にスズランテープを巻き付けて太さを測る) 大きいさつまいもを持ってきて、「これが一番長い!」「こっちの方が長いよ」と友達と一緒に仲良くさつまいもの測定を行います。また重さを計っていく中で最初は「先生! これなんて読むの?」聞いていた子どもたちに「うーんと、これは458だよ」と数量への感覚、読み方などの力が備わってくるのがわかります。また読むことが難しい子には「ここは?」「ここは?」と数字の読み方をいっしょに教えながら、計量をしていました。小学校との連携を考えながら、取り入れた活動の一つです。



458gだよ

こっちのさつまいもの方が長いね!



何グラム?

どっちがおおくて長いかな?



全部はるかの勝ち!! はるかの
方が大きいし、長いし、太い!!

・さつまいもの水洗い

焼き芋会前日にさつまいもの水洗いを行いました。種類が混ざらないように色分けし、洗いました。年長さんが洗っているのを見て洗ってみたくなった年少さん「ピンクのレジャーシートから取ったから、ピンクのお家に入れるんだよ！一緒にやろう！」「最初にここで砂を落してから水で洗うんだよ！そうそう！上手！」と年長さんが率先して声をかけ、教えながら一緒に行っている様子が見られました。異年齢との関わりの中で更に思いやりの芽が育まれていきました。



・焼き芋会

待ちに待った焼き芋会！！子どもたちは前日から「明日は焼き芋会だね！」「やっきいも！やっきいも！」と楽しみにしている様子が見られました。朝、幼稚園に来て「もう、焼いてる！」と園庭で焼いている様子みて急いで園庭に向かいます。窯の様子を観察し「そろそろ焼けるかな？」「みて！焼けてる黒くなってるね！！」と焼いている様子をじっくりと観察します。焼きあがるのを待っている間に、ツルを使って縄跳びや綱引き、リースづくりなどをし、子どもたちにとっての「さつまいもデー」が始まりました。その他にもさつまいもの種類の紹介や断面について話したり、手遊びをしたりして待つ中、美味しそうな匂いがしてくると焼き上がりへの期待がどんどん膨らみます。断面の様子を見てさつまいもの種類によって、違いがあることに子どもたちは興味津々で、しばらくおいてあったさつまいもを見比べていました。

種類の食べ比べが出来る様にさつまいもを用意し、焼き芋屋さんになりきった保護者の方が、子どもたちに焼き芋を配ります。匂いや見た目、味が全く違うことへの驚きなど五感を使いながらの経験をする中、学びの多い一日となりました。



・スイートポテト作り ～数量への興味～

さつまいもの料理を紹介した時に子どもたちから、「お家でスイートポテト作ったことあるよ!」「さつまいもを潰して、砂糖と牛乳とバターを入れて混ぜて、焼くんだよ!」「作ってみたい!」と友達同士で会話をしているの聞き「幼稚園でも作ってみる?」と問いかけると「作りたい!」とキラキラした目で反応してきました。後日子どもたちと一緒にスイートポテトを作る計画を保育者が持っていくと材料の分量を自分たちで調整することで子どもたちオリジナルのスイートポテトを作ることになりました。「小さじ1で良い」「甘いのが好きだから、半分でいい」等自分でスイートポテトの味の調整をします。初めて使う器具でしたが、数量への興味が芽生えているせいか、説明するとすぐに使えるようになります。

焼き上がりを持っているとスイートポテトが焼ける匂いを嗅いだ子どもたちが「いい匂いがする」「早く食べたいね」とワクワクしていました。自分で作ったという満足感からさつまいもが苦手な子も「少し食べてみる!」と挑戦していました。



〈考察・まとめ〉

今年度は子どもたちと話し合い、さつまいもの種類を選んだり、畑の観察に行ったり、スイートポテトを作ったりと子どもたちを主体として取り組む活動を意識し、計画を立てていきました。活動を通して子どもたちには友達や小さいお友達に思いやりを持って行動できるような内容や環境設定をしたり、食物を育てる大変さを味わうことで食への関心を高めたりできるような活動を事前に取り入れたり、工夫してできました。

畑の準備をしたことへの労いの言葉、給食を作ってくれることへの感謝の気持ち等、さつまいも植えやさつまいも掘り焼き芋会を通して、感じることはできたのはその気持ちが養われた結果だと感じています。また、観察する力を養えるような内容を（種類別など）を取り入れたことで、子どもたちのなかで「なぜ?」が芽生え、調べたり、考えたり、話し合ったり、子どもたちの中で、生きるために必要な意欲、探究心など、たくさんの力が育まれたと感じています。

今年度は、さつまいも栽培を通して、食育にとどまらず子どもたちの成長をたくさん見ることができました。来年度も子どもたちと話し合い、食育を通していろんな経験が出来る様にしていきたいと考えています。